

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|------------------------|------------|----------|
| 事業所番号 | 0174700690 | | |
| 法人名 | 特定非営利活動法人オーディナリーサーヴァンツ | | |
| 事業所名 | グループホーム五つのパンと二匹の魚 | | |
| 所在地 | 十勝郡浦幌町住吉町54-2 | | |
| 自己評価作成日 | 令和4年3月31日 | 評価結果市町村受理日 | 令和4年5月2日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kihon=true&JiyosyoCd=0174700690-00&ServiceCd=320 |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 株式会社ソーシャルリサーチ |
| 所在地 | 北海道札幌市厚別区厚別北2条4丁目1-2 |
| 訪問調査日 | 令和4年4月18日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者さん同士助け合いながら生活をしています。できることはどんどんしていただき、できない利用者さんには職員が必ず付きサポートしながら無理のないように進めています。利用者さん職員の笑顔が絶えない家庭的な雰囲気を作れるように関わりを持っています。ご家族さん・知人の方いつでも気軽に来ていただけるように明るい雰囲気といつでも相談できるように努めています。外出にも力を入れており、町で行われる行事等には必ず参加できるように利用者さんと地域の方が交流できるように努めています。職員の部分では障害のある方や外国の方とも働けるよう力を入れています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

グループホーム五つのパンと二匹の魚では、利用者の尊重を基本にしながら、利用者が事業所での暮らしの中で幸せを感じられるように、そして地域の中での役割を見出していけるように取り組むことで理念の実践を積み重ねています。利用者の健康維持には力を入れており、看護師の配置や法人内に筋力トレーニングの専門施設を持ち、利用者が通っています。さらに、外部から歩行機能の維持向上に特化した理学療法士の指導を職員が受け、個別訓練計画の実施や日常的なリハビリを行っています。コロナ禍により家族等との面会が制限されていますが、オンライン面会や事業所だよりの充実など、利用者の日常生活を伝えています。地域との交流機会も同様に制限がありますが、農作物の差し入れなどが継続しており、旬の食材や行事ごとのメニューなども含め、バランスの良い食事を提供しています。

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

| 項目 | | 取組の成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取組の成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|---------------------|--|----|---|---------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらい 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんどつかんでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9、10、19) | ○ | 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38) | ○ | 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2、20) | ○ | 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36、37) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11、12) | ○ | 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30、31) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | | | | |

自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|-------------------|------|---|---|--|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| I 理念に基づく運営 | | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 法人全体で決めた理念を職員の見える場所に貼っていつでも確認できるようにしている。(玄関・事務所・休憩室) | 法人の理念に「共生 地域作り」を掲げ、地域を元気にすることが地域密着型サービスである事業所の役割と位置付けています。事業所の玄関、事務室、休憩室に理念を掲示し、職員はいつでも理念を振り返り、実践に努めています。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 本来なら顔見知りの方に会いに行ったり、地域の行事に参加したりして交流している。今はコロナの感染対策の為交流は控えている | コロナ禍の中にあり、従来と同様の地域とのつながりを保つことが困難となっています。しかし、直接的な交流は難しいものの、近隣の農家から野菜等の提供を受けるなど、地域との間接的な交流は継続しています。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域の方に認知症を理解していただく機会を設けている。運営推進会議等でも認知症について説明している。体験学習も依頼があれば対応している。現在はコロナの感染対策のため行っていない。 | | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 年に6回開催。各事業所の取り組み、ヒヤリハット等報告をし意見を頂いている。毎回テーマを決め説明している。(身体拘束・虐待防止等) | 今年度は2回、系列3事業所合同で書面での会議を行いました。会議では、事業所の取組や現状を伝えるだけでなく、双方向な会議にするため、事前に開催日時の連絡と共に議題を委員に送付し、意見を求めるなどの工夫をしています。会議録は家族に送付しています。会議には家族や地域包括支援センター、役場担当者、地区区長などが参加し、委員から運営についてのアドバイスを受け、改善に努めています。 | | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 役場・福祉センター等連絡を取り施設に空きができた時等情報交換を行い協力関係を築いている。3年に一度実地指導していただき事業内容や施設見学していただき指導いただいている。 | 管理者は役場や福祉センター等へ施設の空き状況等の情報を発信しています。感染症の情報が少ない中でも連携し、事業所の対策立案の参考にしています。利用者への適切な対応だけでなく、職員の働き方の助言なども受けており、合理的配慮や離職防止などの取組につなげています。 | | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束について各施設ごとに研修している。毎年身体拘束チェック表を全職員行っている。施設内身体拘束についての内容が記載された用紙を貼り示している。外部のリモート研修参加している。 | 職員研修を行い、日頃から意識して介護にあたり、運営推進会議でも身体拘束排除の取組について委員の意見を受けています。毎年9月の身体拘束の自己チェックと、その後一カ月の改善状況の振り返りと管理者からのフィードバックを行っています。利用者の行動制限をせず安全も担保していくためにモーションセンサーの検討や介護方法の検討を重ねています。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 身体拘束同様各施設ごと研修。虐待防止チェック表の実施。外部のリモート研修参加。 | | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----------------------------|------|--|---|---|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 研修が開催された時は職員参加している。参加内容をミーティング等で報告している。役場・福祉センターとも相談し進めている。 | | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 事前にご家族やご本人に施設見学していただき重要事項説明時に相談・疑問点を訪ね話を進める。改定は年に1回の家族懇談会で説明している。 | | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 利用者懇談会を開催し意見・要望を聞いている。一対一になった時話やすい職員に意見・相談していただける事もある。ご家族は来所時・ケアプラン説明時に意見・要望を聞き運営に反映している。 | コロナ禍のため面会の方法や時間などを制限をせざるを得ない状況ですが、事業所便りで写真を掲載したり利用者個人の様子を伝えることで理解を促し、意見を聞いています。家族からの物品の寄付や施設修理などを利用者支援と一緒にしています。利用者懇談を重視し、利用者間の意見を聞ける場と個別に意見を聞く場面を作っています。 | | |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | モニタリング等の会議で職員から意見・提案を聞く機会を設けている。その場以外も個別で申し出てくる職員もいる。個人面談でも意見・相談を聞く機会を設けている。 | 国籍の違いや病気、障害などがあっても働きやすい職場作りのため、各種会議や個人面談で職員の意見を聞いています。SNSなどを活用し、職員の気持ちや困りごとをリアルタイムに受止め、対応や改善を行っています。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 代表者・管理者は職員の声に耳を傾け相談しやすい環境をつくり個々の対応に力を入れている。毎年自己評価を記入してもらいそれを基に面談し環境改善に努めている。 | | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 年間の法人研修計画を立て管理者・職員の力量を把握している。外部の研修開催の通知が来た時は各事業所から職員参加しレポート提出ミーティング時報告する機会を儲けている。 | | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている | 外部研修のリモート参加しお互いの意見交換をしサービスの質の向上にむけ取り組んでいる。 | | | |
| Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | サービス開始前にご家族に会い意見を聞いている。入所後もお話を聞きご本人に安心して暮らしていけるよう要望に応え信頼していただけるよう務めている。 | | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族の思いや願いを聞き少しでもよくなるよう努めている。いつでも相談できる雰囲気作り信頼関係を築き要望に応えられるよう務める。すぐに報告・相談している。 | | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご家族・ご本人の意見や状態を相談しながら支援の方法・サービスの提供・提案に努めている。 | | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 信頼関係が築けるよう日頃から声掛け・コミュニケーションをとるよう努めている。一緒に行える事を見極め取り組むよう努めている。(洗濯・お茶づけ包み等)感謝の言葉を伝える。 | | | |
| 19 | | ○本人を共に支え合う家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族・ご本人の意志等確認しながら助け合いサービスを行うよう努めている。ホームでの様子は通信で報告。何かあれば報告・相談している。 | | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 本来なら地域交流や外出等で色々な場所へ参加する事で馴染みの場所や人との関係を保てるよう努めている。現在はコロナ感染対策の為交流は控えている。 | 外出や交流ができるようになるまで、利用者の体力と筋力が維持できるようにパワーリハビリを行っています。また外部の理学療法士が歩行機能維持のための個別訓練計画を作成し効果を上げています。法人で有償運送を行っており、希望者への外出支援にも活用しています。 | | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 日常生活の中で利用者の性格・相性を考え配慮し他者同士が上手く関われるよう支援に努めている。何か行う場合は必ずその場に職員が参加し利用者同士揉めないよう仲介している。 | | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 医療機関に転院された場合ご依頼があれば洗濯サービス等の支援を行っている。ご家族より相談された場合は親身になって話を聞いている。 | | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者にご担当を決め要望・相談・苦情を聞きモニタリング等で話合っている。その他一対一になった時に話し相談して頂ける方もいる。職員同士情報交換しその方にあったケアに努めている。 | 利用者ごとの担当職員が利用者の気持ちや暮らし全般について毎月モニタリングを行っています。言葉で意向を表せない利用者には、嫌なことや職員側の都合でのしつこい促しは行わず、意思を尊重しています。毎日を楽しく過ごせるよう、利用者ひとり一人の好みや嫌なことなどを把握し、どの職員でも対応できるようにしています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご家族・ご本人に話を聞き、入居時基本情報の作成。かかりつけの医師や入居前に生活されていた場所に不明な点を確認し情報を得ている。その他不明点はご家族に確認し生活歴・家族構成等の確認をしている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 生活記録に日常の様子や行動を時系列に記録。申し送りにも記録し職員は現状を把握しながら介助を行う。出来る事・出来ない事を見極め出来る事をしていただき出来ない事は押し付けずサポートする。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 利用者に各担当を決めモニタリングにより課題・ケアのあり方を分析。プラン更新時にはご家族・本人から聴き取りをしケアプラン作成。確認・説明・同意を得る。モニタリング等で話し合い調整・見直しをし多方面の意見を取り入れ作成している。 | 介護計画の目標は、利用者が毎日をどう過ごすか、どのような状態を目指しているかを職員に理解しやすく設定し、実施状況の記録は職員が行った支援だけでなく、利用者の心情にも踏み込んでいます。担当職員からのモニタリングも併せ利用者にその時必要な支援が提供できるようチームで取り組んでいます。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 毎日の状態や会話の内容等記録し職員・管理者に情報を共有している。生活記録には心身の状況・職員との会話等記録。連絡記録等には全体的な確認事項を記録。職員は必ず確認・サインしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 家族の要望を把握しご家族が動けない場合の入院サービス(洗濯・買い物)支援を行っている。週2~3回利用者にはパワーリハビリテーション利用していただいている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 本来なら町内の行事に参加し地域に行事の把握や交流をしている。今はコロナ感染対策のため交流は控えている。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 町立診療所とは24時間の協定を結んでいる。月に1回町立から訪問診療がある。往診以外の町立の受診は施設で対応し必ず内容をご家族に報告している。町外の受診は有償運送で支援している。 | 利用者は入居前からの町外のかかりつけ医への受診を家族同行や有償運送を活用して継続することができます。事業所に看護職を配置することで利用者の体調管理や病院連携をスムーズにしています。 | |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 利用者の体調の変化・急変時は看護師に相談・指示いただき受診等対応している。受診の結果報告・日々の様子を記録し情報を共有している。昼夜問わず連絡・指示が受けられるようにしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|---|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院した利用者の様子を確認したり、病院から連絡いただいたりしている。衣類・定期薬・消耗品届ける(基本はご家族対応)対応出来ない場合は入院サービス行っている。退院時も入院中の様子を確認し生活の指導を受けている。 | | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる | 利用者代理人と「重度化・終末期覚書」を文章で取り交わしている。状況が変化すればその都度変更・更新している。医療関係者にも情報を提供していただいている。月に1度医師・看護師の訪問あり。 | 医師から重度化や終末期と診断があった場合は家族と話し合いを行っています。週末期には職員に対し個別の支援方法や観察のポイントなどを周知し、管理者と事業所の看護師が常時職員のサポートを行っています。利用者への支援とともに職員への心理的な支援も行い、質の高い介護を実践しています。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 内部研修で応急処置や転倒事故防止研修を行っている。消防署で行っている救命講習にも職員参加。マニュアルの確認をしている。 | | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 避難訓練の実施。内部研修では避難誘導の研修をし防災に対する知識を身につけている。水害時の避難訓練のマニュアル作成。 | コロナ禍のため、地域や消防を交えた避難訓練が実施できず、今年度は夜間を想定した自主訓練を1回行っています。非常災害時マニュアルを作成しており、断水や停電の経験から、非常時に必要な物品の備蓄をすすめています。 | 予定避難先施設の浸水に関する安全性を行政と検証し、地域の高齢化や日中の近隣の支援者の減少などに伴う避難対策の立案など、利用者の特性等に配慮した実効的な災害対策となるよう、取組を継続することを期待します。 | |

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

| | | | | | |
|----|----|--|--|--|--|
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 一人一人言葉を選びながら丁寧に接するよう心がけている。話を聞き否定しない。プライバシーに配慮しながら声掛け。お願いの際は敬語で接している。 | 職員は、利用者ひとり一人が違う価値観や生活歴を持つことを理解しています。また認知症の特性により時間によっても好まれる対応が変化することも踏まえて適切な対応を行っています。利用者ごとの表情やしぐさの読み取り方を職員が共有し、一人一人が楽しく過ごせるように配慮しています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | おやつ・水分等本人の希望を伺い選んでいた。トイレ・入浴等も利用者に意見を聞き進める等して本人の意志を尊重するよう心がけている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している | 一人一人に合った生活の暮らしができるよう日々の意見・要望を聞き対応できるよう努めている。その方に合ったペースで急がせたりせず無理のないように進めている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 着替え等ご自分で選べる方には混乱のないよう着か準備し決めていただいている。起床時には声掛けし身だしなみを整えている。出掛ける際も身だしなみに気おつけている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事を楽しんでいただけるよう見た目・採・味に気を付け作っている。時々声掛けをし皆楽しんでいただけている。食事の片付け等も利用者で行っている。お誕生日の際は好みを聞き提供している。 | 献立は職員が当日考え、旬のものや気候、利用者のリクエストに合わせています。利用者が調理に参加したり、お弁当や彩の良い盛り付けなど、食欲が出るように工夫しています。利用者が好きなものが言えない場合も家族から聞いて提供するなど、食事の充実に力を入れています。 | | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一人一人にあった量・硬さ・形状の工夫ケアプラン等で状況を把握し提供している。内部研修で栄養についての研修を行っている。 | | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎日口腔ケアに注意し各時間口腔ケアを行っている。口の周りの汚れ等にも気をつけている。状態を確認し何かあれば歯科受診している。 | | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 一人一人排泄記録をつけ状況のみで声掛け介助を行っている。なかなか行けない方も声掛け・職員交代等対応し進めている。トイレで出来る方はトイレでする習慣を身に着け自立支援を心掛けている。 | トイレでの排泄ができるよう、利用者に合わせて誘導方法を工夫しています。利用者の力量に合わせて羞恥心に配慮した介助方法で支援しています。ほとんどの利用者がリハビリパンツとパッドを利用しています。2時間おきに声を掛け、個別のトイレサインも見逃さないようにしています。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 食事提供の際食物繊維の多い食材を選び提供。毎朝好みを確認し牛乳・ヨーグルト(オリゴ糖使用)提供。体操・歩行運動を実施。排便記録をつけ管理し往診時等医療に相談している。 | | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に沿った支援をしている | 週2回一人一人に合った声掛け工夫・時間帯を考へ入浴。本人の希望に沿い無理に進めず対応。入浴前バイタル測定。2名介助や利用者の性別によつて職員の配置を変更したりして対応。入浴後水分提供。 | 入浴は利用者ごとに週2回行い、清潔の保持だけでなく、湯船に浸かり温まることや、職員と一対一で会話をする満足感を得られるようにしています。リラックスできるように入浴剤を使ったり、家族や利用者への説明の上、安全な入浴のために職員2名での介助や異性介助も行っています。 | | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 日中の運動量を上げるよう体操・パワリハ外出等で気分転換。就寝環境を整え照明加減・寝具を整え入眠しやすく工夫。眠れない方は無理に寝かせず飲み物提供・話を聞くようにしている。 | | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 毎回服薬時は見守り・介助。必ず服用時日付・名前読み上げ飲み間違え飲み忘れ防止。飲みづらい方の工夫。医師に相談している。服薬内容確認できるようファイルに保管。職員見やすい場所に保管 | | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|--|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 一人一人出来ること見極めその方に合った役割を分担する。(茶碗拭き・片付け・メモ・布切り等)塗り絵や字を書く等楽しみの支援。季節事の行事を楽しんで頂く。(ひな祭り・七夕・クリスマス) | | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 本来なら本人の要望を聞き外出支援に取り組んでいるが、コロナ感染対策の為控えている。町の行事も行われていないため外出の機会が少ない。人との接触の少ない外出は行っている。(お花見・鯉のぼり見学・海・山の日見学・紅葉見学) | 感染症予防のため、地域行事が中止され、買い物等への外出も制限している状況です。しかし、季節を感じられるように花見や海、紅葉狩りなどドライブを行っています。パワーリハビリへの外出と歩行トレーニングは継続しており、外出を再会したときに備えています。 | 新型感染症の影響は今後も続いていくことを想定し、このような状況下での日常的な外出支援のあり方を職員全員で検討し、支援につなげていくことを期待します。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | お金を所有する場合はご家族・本人に確認し少ない金額を管理いただく。全額の場合は金庫に預かるかご家族・本人と相談し決める。コロナ化のため買い物は必要な物は職員が変わりに購入している。 | | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 利用者より電話連絡したいと要望があれば掛けたい時に電話していただけるよう対応している。お手紙・年賀状のやり取りも希望に沿って対応。届いた郵便物は場合によっては職員が説明し見ていただく | | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | その日の天候・気温に合わせて過ごしやすいよう工夫。(日差しの確認・空気の入替え・空気清浄機・冷暖房の温度調整)季節ごとの飾り付けや制作。季節の花等飾り楽しんでいただく。制作は利用者で行って飾っている。 | 利用者は居間の気に入ったソファで過ごしています。空間もゆったりとしており、エアコンや空気清浄機を設置し、換気や温湿度管理を行っています。レクリエーションでは他の利用者の存在を感じ、温かい日差しを浴びながらのうたたねなど、思い思いに過ごしています。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 共有空間の中で利用者皆で楽しく過ごせるよう席等の配置の工夫。カラオケや体操を楽しむ。居室で一人になれるよう配慮し対応している。話の輪に入りづらい方には職員傍につき会話を促す工夫をする。 | | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には利用者の馴染みの物や好みの物・写真等置く事で心地よく安心して生活していただけるようご家族・本人と相談し対応している。テレビや冷蔵庫をおいている方も居る。 | 利用者ごとに、転居前の家具や仏壇などを置くことで自分の居場所として安心できるようにしています。壁には写真を貼ったり、手に取れるところに趣味のものを置いておくなど、利用者の好きなものや、家族との絆を感じられるように飾りつけを行っています。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 一人一人出来ることを見極め安全に配慮し少しでも自立して生活せざるよう努めている。(歩行器使用等)廊下に手すり配置掴まり歩けるよう職員付き移動対応。トイレ等場所が解るよう表示している。 | | | |